

一般質問



教育都市とする イメージ戦略を

問 本市には特色ある保育園・幼稚園から小・中・高等学校、高等専門学校、4年制大学など教育環境が十分整って

おり、積極的にアピールすべき。また、松原中学校をまちづくりの観点から教育拠点の一つとして生かしては。

答 充実した教育環境を地域資源として捉え、さらなるブランド化を図るとともに、併せて小中一貫校の導入なども検討していく。

防災力の強化と 被災者の生活再建

問 これまで対象でなかった河川や農業用水路等にも活用できる緊急浚渫推進事業債は

2か年のみの計画で終了させず、事業期限の6年度まで最大限活用すべきでは。

答 引き続き市民の要望も聞きながら、できる限り浚渫を進めていきたい。

問 生活再建の目途が立っていない被災者がいる中で支援制度がなくなるが市の見解は。

答 住宅の応急修理の再延長は考えていない。公費解体制度は申請状況も見て判断する。

再発言 老朽危険家屋等除却促進事業など既存制度の拡充等を含め復興施策の検討を。



新たなごみ処理施設

問 建設候補地を大牟田エコタウン事業用地に選定したい理由を聞きたい。

答 新開クリーンセンター跡

地と2か所で検討し、3点の評価結果が示された。大牟田エコタウン事業用地は、①有明海沿岸道路、公共下水道、調整池等のインフラ整備がある。②道路状況に関係なくごみの搬入・搬出が可能。③リサイクルに関する啓発機能を備え、環境関連企業が集積する資源循環型社会の構築に資する施設として適地。

再発言 費用面での比較が示されていない。費用面以外での評価も重要だとは理解しているが、費用面での比較検討

についても示さねば透明性に欠け、説明が不十分。組合と調整し資料の提示を要望する。

学童保育所・クラブの 機能充実

問 開所時間の延長の取組について、進捗を聞きたい。

答 具体的な案を示し説明を行い、事業者へのアンケートの分析を行っている。早期の事業の構築・実施に向け事業者との協議を進めていく。

再発言 市長のリーダーシップで事業早期実現を要望する。



生活保護の申請は 国民の権利

問 長引くコロナ禍の影響は、生活を困窮させているが、自動車を手放せず、生活保護の申請を諦める人がいるが。

答 自動車を保有していることだけで、生活保護の申請を却下することはない。

問 自動車を保有したまま生活保護を利用した件数は。

答 令和元年度4件、2年度7件、今年度は直近までで12件。いずれ就労を再開するめどがある程度ある場合は、車の処分指導を行わない。

再発言 生活保護制度への誤解や偏見の解消も行政の仕事であり、誰もが健康で文化的な最低限度の生活が保障されるよう、市の努力を求める。

校則の見直しは、子供の人権 や意見を言う権利を保障して

問 多様な個性を持つ子供たちの髪型や服装を一くくりにするのは子供の人権としてどうか。また、子供が意見を言う権利は大事にされているか。

答 生徒や保護者の声なども踏まえながら、必要な見直しに取り組んでいる。

再発言 民主的な社会をつくる主権者教育につながる。先生が子供たちの声を聞く、ゆとりを持った教育を要望する。